

1 現計画の取組状況

廿日市市地域公共交通計画では第 6 次廿日市市総合計画の基本理念やめざす将来像との一体性を図るとともに、廿日市市の地域公共交通の役割や取り組むべき課題を踏まえ、現計画の基本理念（あるべき姿）を実現するために、各種事業を実施しました。

基本理念

「暮らしの安心」と「交流」を支える持続可能な地域公共交通網の構築

方針 1 持続可能な地域公共交通網の構築

地域特性に配慮しながら、まちづくりと調和した効果的・効率的な地域公共交通網を構築します。
また、適切な受益者負担と効果的な財政支出により、持続可能なサービスを目指します。

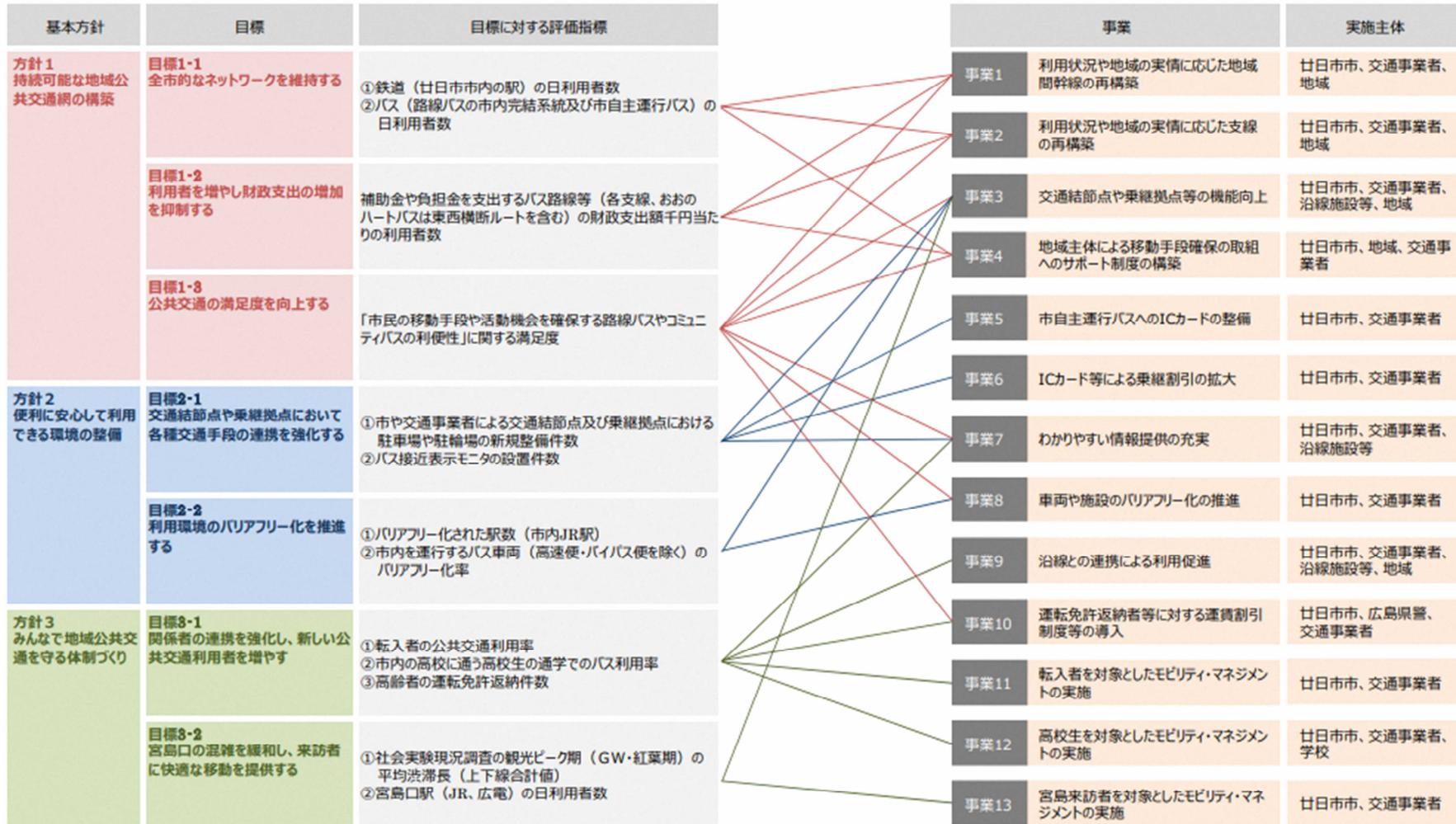
方針 2 便利に安心して利用できる環境の整備

利用者が減少傾向にある中で、利用者の目線に立ち、市民や来訪者が便利に安心して利用できる環境を、ハード・ソフト様々な事業の組み合わせにより整備します。

方針 3 みんなで地域公共交通を守る体制づくり

住民、交通事業者、行政、沿線施設等、公共交通に関わるあらゆる主体が連携し、地域公共交通を守り支える体制を構築します。特に公共交通は利用者である市民あつてのものであるため、「地域公共交通を守り・育てる意識」を醸成し、積極的な市民参画を促します。

現計画の各事業と基本方針や目標の関係は以下の通りとなっている。



現計画に位置付けられた事業の実施内容と成果を以下に示す。

事業1 利用状況や地域の実情に応じた地域間幹線の再構築

【実施内容】

- ① 平成31年1月に地域間幹線である広電バス上栗栖線と吉和線を津田バス停で分割し、市中心部～津田間は同区間を運行する広電バス津田線へ統合、津田～吉和車庫間は吉和さくらバスを新設した。また、吉和さくらバスの見直しにより、さいき文化センター～吉和車庫間の運行便数を3.0回から6.0回へ増便した。
- ② 令和3年10月に、広電バス津田線に上限運賃制度（最大400円）を導入した。

【成果】

- ① 吉和さくらバスは、再編によって運行便数の増加と運賃負担の軽減が図られ、利用者数が増加した。
広電バス津田線は、一時的に利用者数が増加したが、その後、減少傾向となっており、制度をPRし、利用促進を図る必要がある。
- ② 佐伯地域内や佐伯地域～廿日市地域間の移動で広電バス津田線を利用する人の費用負担の軽減につながっている。

事業2 利用状況や地域の実情に応じた支線の再構築

【実施内容】

- ① 平成31年1月に、広電バス玖島線と佐伯地域自主運行バス玖島線の重複区間を佐伯さくらバスへ一本化するとともに、利用実態を踏まえ、車両サイズを適正化した。
- ② 沿岸部及び中山間部のバス路線再編に伴う市自主運行バスの運賃体系の統一により、メイプルライナーに運賃割引制度を令和元年9月に導入した。また、市民ニーズや観光利用を踏まえ、網の浦地区への延伸、杉の浦地区へのルート変更及びダイヤ改正を実施した。
- ③ 令和2年3月に、廿日市さくらバス西循環と広電宮島線との重複区間を広電宮島線へ一本化した。また、廿日市さくらバス東循環は、1便にかかる所要時間が120分を超えていたため、宮内ルートと佐方ルートに分割した。
- ④ 広電バス原・川末線を廿日市さくらバス原ルートに移管した。
- ⑤ 広電阿品駅・宮島口を起点とし、大野支所や宮浜温泉を結ぶ沿岸ルートを新設した。

【成果】

- ① 佐伯さくらバス玖島線は、系統の一本化と車両サイズの適正化によって、事業の効率化が図られ、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成できた。
- ② 市自主運行バスと同じ運賃での利用が可能となり、宮島地域住民の費用負担の軽減につながった。また、ルートの変更によって、地域内移動の利便性が向上した。
- ③ 廿日市さくらバス西循環は、再編によって事業の効率化が図られたが、地域医療拠点への移動に乗り継ぎが必要となり、費用面と身体的な負担から、再編前に戻してほしいという意見が多数ある。
- ④ 廿日市さくらバス原ルートに移管したことで、市民生活に必要な移動手段が維持された。
- ⑤ おおのハートバス沿岸ルートを新設したことで、沿岸部で乗降する利用者の所要時間の短縮が

図られた。一方で、ルート新設のために他の路線の運行便数を振り分けたことで、一部の地区で便数が減ったという意見が多数ある。

事業3 交通結節点や乗継拠点等の機能向上

【実施内容】

- ① J R 廿日市駅北口・南口の駅前広場整備に合わせて、市自主運行バスを乗り入れた。
- ② 平成 31 年 1 月の中山間部の再編に伴い、交通結節点である、さいき文化センターにロータリー、待合所等を整備した。
- ③ 広電バス津田線、佐伯さくらバス玖島線、佐伯デマンドバス玖島・友和線との乗り継ぎ拠点である友和小学校ロータリーに、ベンチや屋根、バスロケモニターを設置した。

【成果】

- ① 市自主運行バスと J R 山陽本線を乗り継ぎたい人が、スムーズに乗り継ぎできる環境ができた。
- ② 交通結節点としての環境整備を行ったことで、バス利用者の利便性の向上が図れたとともに、佐伯地域の地域拠点の機能向上に寄与した。
- ③ 乗り継ぎ拠点の待合環境の充実につながった。

事業4 地域主体による移動手段確保の取組へのサポート制度の構築

【実施内容】

- ① 令和 3 年度から、市が運行していた吉和デマンドバスを NPO 法人ほっと吉和による自家用有償旅客運送（地域内巡回バスとデマンドカー）に転換した。
転換に際して、市は、運営協議会の運営やサービス内容の検討等を支援を行うとともに、運行経費にかかる補助制度を創設した。
- ② 地域主体型互助運送（現対象は大野第一区の楽楽キャブ）について、車両の固定経費に係る補助制度を創設した。

【成果】

- ① 市が運行していた令和 2 年度に比べて、地域主体による、地域内巡回バスとデマンドカーでのきめ細やかな運行により、令和 3 年度の総利用者数は大きく増加した。
- ② 補助制度の活用によって、実施主体の経費負担の軽減が図られ、安定的な事業継続につながっていく。

事業5 市自主運行バスへの IC カードの整備

【実施内容】

令和元年 3 月に、廿日市地域を運行する市自主運行バスに交通系 IC カード「PASPY」を導入し、「PASPY」と交通系 IC カード「ICOCA」が利用可能となった。

【成果】

運行収入に占める IC カードによる利用割合が、令和 2 年度は約 55%、令和 3 年度は約 62%と増加しており、利用者の利便性の向上と、降車時の時間短縮による定時性の確保に貢献した。

事業6 ICカード等による乗継割引の拡大

【実施内容】

バス同士又は広電電車とバスを1時間以内に乗り継いだ場合、2回目に乗車したバス、広電電車の運賃がPASPY割引後の運賃からさらに20円（小児・割引運賃適用者は10円）割引かれるよう制度を充実した。

【成果】

乗り継ぎ利用される利用者の費用負担の軽減が図られている。

事業7 わかりやすい情報提供の充実

【実施内容】

- ① 時刻表を公的機関だけでなく、商業施設や医療機関に設置した。
- ② 支線の時刻表は、幹線との乗り継ぎ情報を記載した。また、幹線の時刻表は、幹線同士の乗り継ぎ情報を掲載した。
- ③ 交通結節点や市役所等へバス接近表示モニタ（11台）を設置した。

【成果】

- ① 時刻表を目にする機会を多くすることで、市自主運行バスの認知度の向上につながる。
- ② 乗継情報を記載したことで、乗り継ぎ利用者の利便性向上につながる。
- ③ 接近情報と運休情報の表示が可能であり、利用者への迅速な情報伝達手段が増加した。

事業8 車両や施設のバリアフリーの推進

【実施内容】

- ① バリアフリー対応として、平成29年度にJR前空駅へエレベータを設置した。またJR宮内串戸駅へ視覚障がい者向けの内方線付き点状ブロック^{※1}を設置した。
- ② 各事業者では、順次バリアフリー車両へ更新している。広島電鉄の超低床車両の導入については、購入補助の支援を行っている。

【成果】

- ① 廿日市市内の全てのJR駅にエレベータが設置され、高齢者や身体障がい者が不自由なく、ホームを行き来することができる環境が整った。
- ② 広島電鉄宮島線の低床化率は、平成28年度27%から令和3年度37%と10%上昇した。

※1 駅ホームで視覚障がい者がひとたび方向を見失った場合に、ホームの内側と外側を区別できるよう、安全側を示す一本線が追加された点状ブロック

事業 9 沿線との連携による利用促進

【実施内容】

- ① GW や紅葉シーズンの宮島への訪問者が多い時期に、商業施設や臨時駐車場を活用したパークアンドライドを推進している。
- ② 市自主運行バス車両のラッピング広告や車内広告を実施した。
- ③ 令和 3 年 3 月～令和 4 年 3 月まで、吉和さくらバスと広電バス津田線の往復乗車券、沿線にある温泉施設の利用券がセットになった企画乗車券を販売した。

【成果】

- ① 商業施設や臨時駐車場を活用したパークアンドライドでは、公共交通の利用促進や宮島口周辺の渋滞抑制に寄与している。
- ② ラッピング広告、車内広告の実施により、市の収入確保につながっている。
- ③ 大人 389 枚、小人 1 枚 計 390 枚を販売（予定枚数：大人 500 枚、小人 150 枚）し、コロナ禍で利用者が減少した地域公共交通と温泉施設の利用者確保に寄与した。

事業 10 運転免許返納者等に対する運賃割引制度等の導入

【実施内容】

平成 30 年度に、運転免許返納者に市自主運行バスの無料利用証（交付日から 2 年間有効）、広島県 IC カード乗車券「PASPY」1 万円相当等の支援が受けられる運転免許自主返納制度を創設した。

【成果】

70 歳以上の運転免許返納者数は、事業開始前（平成 29 年度）の 301 人から、令和 3 年度には 533 人と増加している。そのうち制度利用者は 519 人となっており、70 歳以上の運転免許返納の促進に寄与した。

事業 11 転入者を対象としたモビリティ・マネジメントの実施

【実施内容】

市役所 1 階のパンフレットラックに市自主運行バスの時刻表を配架した。

【成果】

転入者への周知が十分とはいえないため、転入者に渡す資料とセットで市自主運行バスの案内チラシを渡すなどの策を検討する。

事業 12 高校生を対象としたモビリティ・マネジメントの実施

【実施内容】

広島県立佐伯高等学校のオープンスクールに参加した中学生や保護者に対し、通学費補助制度を PR した。

【成果】

平成 29 年度から補助制度の運用を開始し、毎年度 15 人前後の利用があり、高校生の地域公共交通の利用促進に寄与している。

事業 13 宮島来訪者を対象としたモビリティ・マネジメントの実施

【実施内容】

GW や紅葉シーズンの宮島への訪問者が多い時期に、商業施設や臨時駐車場を活用したパークアンドライドを推進している。

パークアンドライドをHP やチラシでPR したほか、地域の祭りでブースを出展しクイズに答えられたらノベルティを渡して、PR を行った。

【成果】

パークアンドライドの制度やメリットを説明して、認知度を上げたことで公共交通の利用促進と渋滞緩和につながった。

基本方針1の目標の達成状況

目標	評価指標	策定時	目標値	実績
目標 1-1 全市的なネットワークを維持する	① 鉄道（廿日市市内の駅）の日利用者数	H25年度 62.2千人/日	R4年度 62.2千人/日	R3年度 46.2千人/日
	② バス（路線バスの市内完結系統及び市自主運行バス）の日利用者数	H26年度 4.3千人/日	R4年度 4.4千人/日	R3年度 2.8千人/日
目標 1-2 利用者を増やし財政支出の増加を抑制する	補助金や負担金を支出するバス路線等（各支線、おおのハートバスは東西横断ルートを含む）の財政支出額千円当たりの利用者数	沿岸部 H26年度 4.5人/千円	沿岸部 R4年度 4.5人/千円以上	沿岸部 R4年度 2.0人/千円
		中山間部、島しょ部 H26年度 2.0人/千円	中山間部、島しょ部 R4年度 2.0人/千円以上	中山間部、島しょ部 R3年度 1.0人/千円
目標 1-3 公共交通の満足度を向上する	「市民の移動手段や活動機会を確保する路線バスやコミュニティバスの利便性」に関する満足度	H26年度 2.53ポイント	R2年度 3.00ポイント	R3年度 2.58ポイント

基本方針2の目標の達成状況

目標	評価指標	策定時	目標値	実績
目標 2-1 交通結節点や乗継拠点において各種交通手段の連携を強化する	① 市や交通事業者による交通結節点及び乗継拠点における駐車場や駐輪場の新規整備件数	H27年度 0件	R4年度 3件	R4年度 3件
	② バス接近表示モニタの設置件数	H27年度 1件	R4年度 9件	R4年度 11件
目標 2-2 利用環境のバリアフリー化を推進する	① バリアフリー化された駅数（市内JR駅）	H27年度 4駅/6駅	R4年度 6駅/6駅	R4年度 6駅/6駅
	② 市内を運行するバス車両（高速便・バイパス便除く）のバリアフリー化率	H27年度 84% (26台/31台)	R4年度 100% (31台/31台)	R4年度 100% (35台/35台) ※予備車除く

※実際に運行している車両はバリアフリー対応されており、予備車両が未対応

基本方針3の目標の達成状況

目標	評価指標	策定時	目標値	実績
目標 3-1 関係者の連携を強化し、新しい公共交通利用者を増やす	① 転入者の公共交通利用率	H27年度 -% ※参考 34%	R4年度 36%	今年度実施予定
	② 市内の高校に通う高校生の通学でのバス利用率	H27年度 8%	R4年度 10%	集計中
	③ 高齢者の運転免許返納件数	H27年度 211件/年	R4年度 300件/年	R3年度 604件/年
目標 3-2 宮島口の混雑を緩和し、来訪者に快適な移動を提供する	① 宮島口周辺の渋滞長	H21年度 12.3km ※社会実験現況調査値	R4年度 7.0km	R1年度 6.8km R2年度 5.6km R3年度 10.1km
	② 宮島口駅（JR、広電）の日利用者数	H25年度 13.5千人/日	R4年度 13.7千人/日	R4年度 8.9千人/日